



週刊

# 経済

昭和30年  
(1955年)

7月9日号

第33年  
第28号

行き悩む日ソ交渉……………【政界展望】

ソ連・中国50日の旅……………名和統一

日・韓国交回復と貿易問題……………鎌田沢一郎

(今週の話題) ぶっしまでモメる米価問題

## 冷戦の緩和と国際経済

## 業界乱賣戦「夏の陣」

生産性運動の抵抗と協力

インバの第二次五カ年計画

東西貿易に関する報告書

企業研究 百円以下の一流資産株

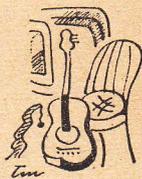
(詳細は目次参照)

定価 60円  
【送料 8円】

毎日新聞社

# ヒモがついていた

## 原子力協定 (中)



(座) (談) (会)

—これからの問題点を衝く—

### よそは英国とも結んでいる

司会 アメリカと原子力協定を結んだ国はすでに二十ヶ国に達するけれども、アメリカの原子力雑誌ニュークレオニクス五月号には、どこかの国は秘密のつくものは断るといつて尻をむけていると書いてある。どこの国だろうか。

森 ワン・カントリ (一つの国) と書いてある。

小椋 日本は、秘密はこまるとはいつたが、単に「ダダをこねた」程度で、断わらなかつたのだから、日本ではないね。とにかくアメリカのいなりにはならなかつた国があつたわけだ。

と協定は結んだけれども、その一方ではサッサとイギリスとも協定を結んでいる国が多いのだが、日本はそんなことをぜんぜん考えなかつたのではないか。

大塚 そうなのだ。たとえばデンマークなどはアメリカと同時にイギリスとも協定を結んだし、イタリアもアメリカからもちかけられた話に対して、大分時間をくつていたというふうな事情もある。イギリスはアメリカが昨年百キログラムの核分裂性物質を海外に出すといつたとき、すでに二十キログラムを出すといつてゐるわけだから、イギリスとしてなんらかの行動は当然あるはずだ。

外務省がアメリカとだけ話をせず、出先機関を使って、一ヶ月か二ヶ月かければ当然わかるはずの、イギリスとかイタリアの問題がぜんぜんわかつていない。少なくとも政府の原子力平和利用準備調査会の重要な人たちに對してすら、それがぜんぜん伝わってない。こういうことは、外務省でみずから相手を選んでしまつてゐることだ。そうだとすると、将来発電の場合にも、日本がどの国を選ぶかは勝手だといふけれども、肝心の当局者が相談もせずにおぼろげな相手をきめてしまつと、それで既成事実が積み重なる。既成事実が積み重なるほどますますその傾向が強くなるのではないか。

と調印したような国は、イギリスにもそういうふうな学校に留学生をだしている。日本だけが出してない。

大塚 アメリカがものをいつたときばかりは遅れまいと行動するのに、よその国がなにかいつているときはぜんぜん聞こうとしない。その他留学でも、アメリカ以外の留

出席者	日本学術会議原子力問題委員会幹事 同 専門委員 東京大学理学部物理学教室 原子力談話会
出 席 者	小椋 広勝 大塚 益比古 服部 一学 森 久

学といふのは、調査団は可能性があるようにいつているのに、実質的にはそれに手もつていない。行ける可能性はあるといふだけだ。

森 さっきのことに関連するが、スペインとアメリカとのあいだに、よその国とも協力できるということが条文にうたわれている。そういうこ

いなりにはならなかつた国があつたわけだ。  
司会 アメリカから話をもちかけてきたので、アメリカ

外に出すといつたとき、すでに二十キログラムを出すといつてゐるわけだから、イギリスとしてなんらかの行動は当

すに選ぶ相手を選びてしまふと、それで既成事実が積み重なる。既成事実が積み重なるほどますますその傾向が強

ルウー、パキスタン、ポルトガル、スペイン、スイス、トルコ、ユーゴスラヴィア、それにアメリカまで行つてゐる。だいたい、こんどアメリカ

のあいだに、よその国とも協力できるということが条文中にうたわれている。そういうこ

とも調べずに、トルコ協定そのものだけをサンプルにしてやつてゐる。

大塚 藤岡さんまでが腹をたてて憤慨したことだが、利用準備調査会という最高の機関にさえ相談がなかつた。交渉開始ということまで外務省

が、たとえば米・トルコ協定の翻訳ひとつにしても「未定稿」ということわりがついて

いるから許せるようなものの、「原子力動力」と訳すか「原子力発電」と訳すか、

そういうものを「核力」というようにしたり、……学者が見たら自然科学に少しセンスがあるものなら、まちがおうた

つてまちがえられないことをまちがえてゐる。いかに自然科学者と縁の遠いところで物事が行われてゐるかがわか

る。

森 それに関連するけれども、実験用原子炉をつくるにしても、アメリカはすごく注意して、なるべく広範囲でな

いもの、たとえばアイソトープにしても「研究に必要な程度アイソトープ」という形容詞をつけて、アメリカの市場を荒されないように注意してゐる。外務省はそれがわか

つていて、しかたがないとお

### アメリカはなぜ急いだか

司会 アメリカが各国と急いで原子力協定を結んだ意図について、ひとつ……

小椋 ひとつは現在の原子力競争というか、原子力をめぐる冷たい戦争だ。その冷たい戦争のなかで原子力法をつ

くつたわけだが、双務協定という形、すなわちアメリカが原子「援助」をするという方

式、これは原子力国際管理というものはぜんぜん別物だ。ほんとうの意味では、今

後国際管理の必要が増大してくるのに対して、一方ではアメリカとの双務協定という形を既成事実としてたくさんつくっておきたいという理由があるのだ。それを六月末まで

というふうにするのは、今年うちに今年の議会の会期中にたくさんつくっておきたい

というのであるし、また八月のジュネーブ会議を境に、世界の原子力をめぐるところの相関関係がちがってくる。それまでに既成事実をつく

ておきたいという意向だともう。

もうひとつの問題は、これはやはりもう少し遠い問題であるけれども、アメリカのいまのままの兵器と、それから平和利用という両建の、しかもその場合に現状としては兵器生産の意義が非常に強いのだが、アメリカの原子力産

業を今後発展させて行くため

に二つの問題がある。ひとつは、アメリカ国内の世論がやはり原子力の国際管理を望み、兵器の禁止・制限を望んでゐるというなかで、平和的利用ということを出さなければいけない。

もうひとつは、アメリカの原子力産業、これは非常に大きな金を施設と資源の確保に投じてきたわけだ。そして新しい原子力法では、今後原子力産業に民間資本を導入する

という建前だが、民間資本を導入するためには市場をつくりだしてやらなければならぬ。もちろん、これは設備も、

### 実験は外国で

森 よくいわれるように、アメリカは比較的電力が安いからということですね。その問題はたしかにあるとおも

う。原子力発電は現に採算があわないので、三百路か五百路ぐらいつくってみなければならぬといふとわかれてゐる。これは外国に売りつける

あるいは濃縮ウランのような半製品の形としての原料といふこともあるとおもふけれども、そのために、できるだけ市場を広く拡げる。それがアメリカとしては施設を拡大する、あるいは資源に対する今

後の支配をもつと拡大するといふための前提条件になるとおもふ。これが二つの理由だとおもふが、からみあつてゐる。

服部 四月四日サンフランシスコに開かれた原子力工業会議に、パターソンの演説のなかにも、そのとおり正直に出ている。

ことが必要だ。外国なら無理に引きあうようにやるだろうというのだ。いわゆるその可能性が、三百路か五百路ぐらいのところだといふ。

小椋 あくどいいい方かもしれないが、原水爆の実験はピキニでやる、原子力発電の実験は後進国でやるというこ

とておもしろい。

濃縮ウラン一つは、アメリカはウランニウム二三五の分離工場の増設しつくり過ぎたのではなからうかともう。そしてプルニウムの生産コストがだんだん下って来るだろうとおもふ。だから今後ウランニウム二三五を利用する道を相当開くということだ。ところがプルニウムといわずに、わざわざ濃縮ウランニウム二三五だけに限定してかかってくるという事は、経済的、技術的理由があるのではないかとおもふ。

小椋 原子力発電ということでは、私もよくわからないが、プルニウムや、濃縮ウランを追加する必要があるか。それが原子力兵器をつくる場合にはどうしても必要だ。もし、そうなる、兵器生産の副産物の市場をつくるという意味が非常に多い。

森 やはりこうなってくる、原子力の裾野をすっとつっておかないと、なにかお

こつたときにひっくり返る恐れがある。

小椋 将来の原子力発電にあっては、濃縮ウランニウムそのものが採算がとれるものにして……それは濃縮ウランをつくるためには、非常にたくさん電気が必要で、一ウムの濃縮ウランをつくるために、一ウムから取り出せると同じような電力を、先に消費しないといけない。そういう意味からいったら、濃縮ウランニウムのほうは発電に適さないということではっきりしている。二三五とプルニウムとは、性質が似ているといわれているわけだが、プルニウムのほうは電力もそんなにたくさん食わなくてもいい。それから、これは想像だが、ソヴィエトではトリウムからウランニウム二三三をつくらしている。そういう研究を進めているに違いない。だから濃縮ウランニウムを使った原子炉の型体というものが、将来の発電のために通らなければならぬ道程ではないといえる。

大塚 あるケースとして、少し濃縮したウランニウムという事も、将来の発電の場合考えられるかもしれない。

森 一%か二%の。

大塚 そのためには、いまアメリカが持っている施設の場場合には、ちょっと濃縮してやるプロセス以外の、あとのプロセスは無駄になる。今後どこの国でもアメリカがいま持っているような、ああいう濃縮ウランニウム生産工場を建設していくであろうなどという事は、絶対に考えられない。

### 秘密裏にきまつた原子炉

森 それは君、濃縮ウランニウムの値段から割出しても、発電の採算はとれない。かなりの市場、一日か二日に一ウムくらいずつ使う市場があったところで、つくっても電力だけで一ウム二十ぐらいかかってしまう。一ウム二十ぐらなどと文献が出ているがまちがいで、一ウムだいたい百ぐら上はかかるのではないかな。

服部 一ウム二十ぐらというのは、どうみても安過ぎる。

大塚 百ぐら前後といっておくのがよいのではないか。

森 ごく大ざっぱにいつてそうだ。

大塚 それで、つぎはウオーター・ボイラーの問題だが、協定が仮調印されたその日の外務省情報文化局の発表を見ると、日本はいちおうウオーター・ボイラー型を予定しておるといふようなことが出てくる。それは既成事実の第一歩だ。

ウオーター・ボイラー型とどこで定められたかというところは一はハフスタッド（前米原子力委員会原子炉部長、現チエイズ・マンハッタン銀行原子力部長）というのがホブキンズ（ゼネラル・ダイナミクス社長）についてきたときに、ウオーター・ボイラーがよいとい

うことをいった。その後は藤岡博士がウオーター・ボイラーなら秘密がない、ということをとをいった。ところが、設計班班長の杉本博士なども、設計班として相談を受けたことではないということも仙台の学会でいっている。

いわゆるおエラ方が非公式に話し合いをしたことがあるらしいけれども、けつして広い場所でも議論されてきめられたものではない。たとえば利用準備調査会というものは、はじめの建前からは、総合部会のほかにも、専門部会をつくる、将来原子炉の型などは当然審議されるべきで、朝永先生がいっしょうけんめい主張しておられるが、そういうこともせずに、政府が「いちおう」という形容詞をつけているが、ウオーター・ボイラーにきめている。日本の人はハフスタッドのいうことを信用したのではなく、藤岡さんを信用したとおもふが、もしも秘密がないというなら、交渉の過程で技術交渉に入るわ

と、原子力の裾野をすつとつ  
くっておかないと、なにかお

のたにに通らなければならな  
い道程ではないといえる。

（ゼネラル・ダイナミックス社  
長）についてきたときに、ウオ  
ーター・ポイラーがよいとい

を信用したとおもうが、もし  
も秘密がないというなら、交  
渉の過程で技術交渉に入るわ

けだから、絶対秘密をもちか  
たしかめてほしい。こちらの  
ほうだけで秘密がないだろう  
というようなことは、絶対に  
やらないでほしい。

服部 ウォーター・ポイラ  
ーは秘密がない、などと向う  
がいったこともないのだけ  
ら。

に表しては、あの研究者が  
自信をもって、安心して自由  
な研究ができない。ウォータ  
ー・ポイラーをどこかで討議  
をしておきめになるならおき  
めになるでけっこうだが、そ  
の場合に、その理由として、  
機密がないというなら、日本

例だけの相設けはなしに、ア  
メリカにはっきりたしかめて  
ほしい。せひやってほしいと  
おもう。それで、ほんとうに  
機密がないなら、たしかに秘  
密のないのをもちかうというこ  
とは喜ぶべきではないかとお  
もう。

るにちがいない、とね（笑）。

ているのが、かれの演説では  
っきりわかることは、アメリ  
カの原子力産業が、たくまし  
い意図をもって海外へ乗出そ  
うとしていること、双務協定  
の最大の目的の一つは、相手  
国の民間産業との直取引にあ  
ること、原子力発電はけっし  
て万能薬ではないこと、しか  
しそれを万能薬のように思い  
こんでいる国のまちはがった願  
望をおさえたくないこと、実  
験炉を出すのは何のためかと  
いえば、将来後進国にすえつ  
ける発電炉の運転方法を教え  
ておくためであること、そし  
てアメリカの勢力圏だけで原  
子力国際機関をつくらうとし  
ていることだ。（つづく）

### 話は舞台裏で決定ずみ

大塚 よくいわれることは  
協定のなかに型とか内容を更  
更してはいけないというよう  
な言葉がある。これはウォー  
ター・ポイラーのときには条  
文解釈に手を加えてよいので  
はないかというような、楽観  
論を出す人があるが、全部仮  
装に過ぎない。アメリカのい  
ままでの原子力のやり口を見  
てもわかるように、放射能の  
問題にしても……話は違うか  
もしれないが……水爆実験で  
怪我をして死んだ人に対して  
あれは水爆のせいじゃないと  
いうことを公言している。

司会 双務協定の仮調印と  
同時に、外務省が原子炉はウ  
ォーター・ポイラー型を予定  
と、畑違いのことまで先走っ  
て発表したことは意味深重だ  
とおもう。というのは、原子  
炉はアメリカの民間から日本  
の民間が買入れるべきものな  
のだ。ウォーター・ポイラー  
ならアメリカの一月十一日の  
濃縮ウラン提供の申入書添付  
のファクト・シートに、ノース  
アメリカン航空会社とわざわざ  
書いてある。ノースアメリ  
カンから日本の何会社か買う  
のか、チャンと話がきまっ  
ているにちがいない。学界や、  
政府の最高機関たる調査会を

ぬきにして、すべてが進めら  
れている。どうです？  
服部 たしかにそうだ。ど  
こか買うか、うわさはいろい  
ろあるが……

大塚 パターソンの四月四  
日の演説を一読する必要がある  
ね。原子力産業者を集めて  
海外への進出を奨励し、それ  
がために政府は最大の努力を  
するであろうとい、こんど  
の双務協定は「青信号」の双  
務協定だとうまいことをいっ

ておくためであること、そし  
てアメリカの勢力圏だけで原  
子力国際機関をつくらうとし  
ていることだ。（つづく）

だから、アメリカの場合に  
は、やはりはっきりした約束  
をとっておかないと、非常に  
心配だ。そういう心配をあと

服部 正力氏にだしぬかれ  
たと、気がついてカンカンに  
なっている向きもあるとい  
う。そのほか日立製作所も有  
力候補じゃないかな。

大塚 おい、うっかり名を  
あげると株が上るぞ（笑）。原  
子力購入で政府の補助金が出

るにちがいない、とね（笑）。

服部 その補助金の話も、  
チャンと内定しているのじゃ  
ないかな（笑）。仮調印から  
本調印までに、いろいろ是正  
すべき問題があるといいつ  
ても、すべては舞台裏ですん  
でしまっている感じだな。

司会 原子力導入によって  
何がもたらされるか、財界人  
にわかつているのかしら。

大塚 パターソンの四月四  
日の演説を一読する必要がある  
ね。原子力産業者を集めて  
海外への進出を奨励し、それ  
がために政府は最大の努力を  
するであろうとい、こんど  
の双務協定は「青信号」の双  
務協定だとうまいことをいっ

ておくためであること、そし  
てアメリカの勢力圏だけで原  
子力国際機関をつくらうとし  
ていることだ。（つづく）

### 刷 増 評 好

#### 原子力の平和利用は何をもたらすか？

B5判・一三六頁・定価一五〇円・千二四円

エコノミスト別冊、原子力特集は政治・経済面から  
みた原子力の問題点を解剖致しておりますが、多数  
読者の好評を得、なお各方面の御要望にこたえるため  
増刷致しました。何卒この機会をお見逃しなく御求  
めのほどを。

エコノミスト編集部